

平成29年度全国高等学校総合体育大会
第67回全国高等学校スピードスケート競技・フィギュアスケート競技選手権大会
実 施 要 項

主 催	公益財団法人全国高等学校体育連盟 公益財団法人日本スケート連盟 山梨県 山梨県教育委員会 甲府市 甲府市教育委員会 富士吉田市 富士吉田市教育委員会 富士河口湖町 富士河口湖町教育委員会
共 後 援	読売新聞社 スポーツ庁 公益財団法人日本体育協会 日本放送協会 公益財団法人山梨県体育協会 公益財団法人甲府市体育協会 公益財団法人富士吉田体育協会 富士河口湖町体育協会
主 管	公益財団法人全国高等学校体育連盟スケート専門部 山梨県高等学校体育連盟 山梨県スケート連盟

1 会 期

区 分	競 技 名	期 日
開 始 式	スピード競技	平成30年1月22日(月)
	フィギュア競技	平成30年1月22日(月)
競 技	スピード競技	平成30年1月23日(火)～26日(金)
	フィギュア競技	平成30年1月23日(火)～26日(金)

2 会 場

区 分	競 技 名	会 場
開 始 式	スピード競技	勝山ふれあいセンターさくやホール(富士河口湖町)
	フィギュア競技	小瀬スポーツ公園 武道館(甲府市)
競 技	スピード競技	富士急ハイランドセイコオーバル(富士吉田市)
	フィギュア競技	小瀬スポーツ公園アイスアリーナ(甲府市)

3 競技種別

(1) スピード競技

	距 離					団 体 種 目	
	500m	1000m	1500m	5000m	10000m		
男 子	500m	1000m	1500m	5000m	10000m	2000m リレー	チーム パシュート
女 子	500m	1000m	1500m	3000m		2000m リレー	チーム パシュート

(2) フィギュア競技

男 子	シングルスケートティング
女 子	シングルスケートティング

4 競技日程

	スピード競技	フィギュア競技
23 (火)	① 女子500m ② 男子500m ③ 男子5000m	女子予選 Aグループ ショートプログラム
24 (水)	① 女子1000m ② 男子1000m ③ 女子3000m	女子予選 Bグループ ショートプログラム 男子予選 ショートプログラム
25 (木)	① 男子10000m ② 女子1500m ③ 男子1500m	女子予選 Cグループ ショートプログラム 男子決勝 フリースケーティング
26 (金)	① 女子2000mリレー ② 男子2000mリレー ③ 女子チームパシュート ④ 男子チームパシュート	女子決勝 フリースケーティング

5 競技規程

平成29年度公益財団法人日本スケート連盟（以下「日本スケート連盟」という）、競技規則・規程並びに本大会要項によるほか、公益財団法人全国高等学校体育連盟スケート専門部（以下「スケート専門部」という）規程による。

6 競技方法

(1) スピード競技

ア 男子、女子ともに各距離ダブルトラック（チームパシュートレースを除く）で競技を行う。その競技場は1周400mの標準トラック（Cタイプ）とする。

イ 男子、女子ともに1500m以上の距離は、カルテットスタートの競技方法を採用する。

ウ グループ分けと組み合わせ

※文中の「タイムランキング」とは前年度及び当年度に開催された、国際競技会を含む日本スケート連盟公式競技会における当該距離の自己最高タイムランキング（平成29年12月26日付日本スケート連盟発表のもの）を指す。

①第1グループは、タイムランキング上位選手8名とし、それ以外の選手を第2グループとする。

②第1グループの組み合わせ及びリレー競技の組み合わせは抽選による。第2グループの選手はタイムランキングによって構成（組み合わせ）される。この時、同タイムの選手及びタイムのない選手は抽選により組み合わせられる。また、同じ組に同一校の選手が入らないように調整する。但し、同カルテット内では調整しない。これらは、スケート専門部及び実行委員会事務局により事前に抽選される。

③スタート順は、タイムのない選手、次にタイムランキング下位の組から滑走し、最後に第1グループが滑走する。但し、スケート専門部及び実行委員会事務局が気象条件を勘案し、暖気等で中断等が予想される場合や、明らかに公式記録上位の選手が不利な条件になると判断した場合は、第1グループから滑走させることができる。

④組み合わせ後に棄権者が出た場合には、第1グループ内で独走となった組のみの再編成とし、タイムランキングでは行わない。また、選手変更は、その種目開始1時間前までに行うことができる。補欠選手は当該校の選手の位置と入れ替わり、補欠選手の自己最高タイムに基づく再編成はしない。

エ チームパシュートの組合せ方法については、男女1500mエントリー（補欠含む）を参考にグループ分けをして滑走順を決める。

グループ分けと滑走順、エントリー数は以下のとおりである。

Aグループ（1500m2名出場）・・・グループ内での組み合わせは下位者のタイムで行う。

Bグループ（1500m1名出場）・・・グループ内でのタイムで組合せを行う。

Cグループ（1500m出場者なし）・・・フリー抽選とする。

滑走順はCグループから滑走しタイムレースで行う。エントリー数は最大4名とする。

オ 各距離24位までと、リレー、チームパシュートの12位までに各1点を与える。

カ 入賞はリレー、チームパシュートを含む各距離8位までとし、得点は1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点を与える。

キ 男女各総合(学校対抗)順位は、リレー、チームパシュートを含む各距離の得点を学校別に合計し、その合計点により順位を決定する。但し、同点の場合は、総合6位以内に限り上位入賞の多い学校を上位とする。その決定は、より上位を有する数による。

ク 参加資格確認のため当該校の申込記載責任者は様式6Sにバッジ認定証の写しを貼付しなければならない。

(2) フィギュア競技

ア 競技は予選、決勝方式により行う。

【予選】：男子クラス・女子クラスともにショートプログラムにより行う。

I S Uジュニアの課題を適用する。

【決勝】：男子クラス・女子クラスともにフリースケーティングにより行う。

I S Uジュニアの男子及び女子のバランスのとれたフリースケーティングを適用する。

イ 選抜方法

①男子クラス・女子クラス予選の得点のそれぞれ上位24位までの選手が決勝に進出する。

②参加人数が、男子クラス・女子クラスそれぞれにおいて48名以上の場合は、2つ以上の組に分けて予選を行う。

③予選の組分け方法

当該年度の全日本フィギュアスケート選手権大会出場の選手、当該年度の全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会上位12位までの選手、前年度の本大会上位12位までの選手を、前記大会順、入賞順に2つ以上の組に振り分け、それ以外の選手は、バッジテスト級ごとにそれぞれ抽選で2つ以上の組に分ける。組分けの抽選は、技術代表、スケート専門部及び実行委員会事務局の責任において事前に行う。組分け後に棄権者が出た場合でも、組の再編成は行わない。

ウ 採点方法

I S Uジャッジングシステムで行う。

エ 滑走時間

①男子クラス	予選	ショートプログラム	(2分40秒±10秒以内)
	決勝	フリースケーティング	(4分00秒)
②女子クラス	予選	ショートプログラム	(2分40秒±10秒以内)
	決勝	フリースケーティング	(3分30秒)

オ 成績

①個人成績

決勝進出者については、予選の得点と決勝の得点の合計点により個人順位を決定する。同点の場合はフリースケーティングの得点が高い選手を上位とする。決勝へ進出できなかった者については、決勝進出者の最後の順位に続けて、予選の得点により個人順位を決定する。同点の場合は、技術点の高い者を上位とする。

②総合成績

個人順位の逆転法(最下位の順位点を1点とし順位が一つ上がるごとに1点ずつ加点していく)により個人に順位点を与え、順位点を学校別に集計し、総合順位を決定する。但し、同点の場合は上位者のいる学校を上位とする。

7 引率・監督

(1)引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。

(2)監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。但し、各都道府県における規程があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規程に従うことを原則とする。

【補足事項】

(1)スピード競技の引率責任者は、当該校の教職員とする。ただし、やむを得ない事情により当該校の教職員が引率できない場合は、当該学校長から委嘱された他校の教職員が引率することができるが、その際には参加申し込みに委嘱状の写しを添付すること。監督・コーチは当該学校長が認める指導者とし、当該学校長から委嘱された外部指導者も認める。その際、引率責任者と十分な打ち合わせをすること。

(2)フィギュア競技の引率責任者は、当該校の教職員とする。監督は引率者が兼任するものとし、当該校の教職員とする。但し、やむを得ない事情により当該校の教職員が引率できない場合は、当該学校長から委嘱された他校の教職員が引率することができるが、その際には参加申し込みに委嘱状の写しを添付すること。コーチ(インストラクター)は当該学校長が認める指導者とし、当該学校長から委嘱された外部指導者も認める。その際、引率責任者と十分な打ち合わせをすること。

(3)引率責任者は、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。

8 参加資格

- (1)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2)選手は各都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、各都道府県スケート連盟を通じて日本スケート連盟に登録された者であること。
- (3)年齢は平成10(1998)年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。(「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する。)大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
- (4)チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5)複数校合同チームの大会参加は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り合同チームによる大会参加を認める。
- (6)転校・転籍後6ヶ月未満の者は同一競技への参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住などやむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。大会開始前のエントリー変更期限前に6か月が経過し出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリー変更のルールがある場合には、そのルールに従って変更を認める。
- (7)出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8)参加資格の特例
上記の(1)(2)に定める生徒以外で、大会参加資格を満たすと判断され、かつ都道府県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規程にしたがい大会参加を認める。
上記の(3)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

[大会参加資格の別途に定める規定]

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1)大会参加を認める条件
 - ア (公財)全国高等学校体育連盟の目的理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修学年限とも高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく運営が適切であること。
 - (2)大会参加に際し守るべき条件
 - ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合せ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある学校の職員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

9 参加制限

(1)スピード競技

- ア 出場は1校1距離2名以内とし、補欠は1名とする。また個人の出場制限は2距離以内(リレー・チームパシュートを除く)とし、補欠も1距離と見なす。
※1選手の最大エントリー数は個人種目(2距離以内)の他リレーとチームパシュートの4種目とする。
- イ リレーは登録6名以内とし、出場者はそのうち4名とする。
- ウ チームパシュートは登録4名以内とし、出場者はそのうち3名とする。
- エ 申し込み選手のほか、男女別に監督1名とする。コーチは1名以内とする。
- オ 各都道府県スケート連盟を通じて日本スケート連盟に登録された者であり、スピードスケートバッジテスト及びショートトラックバッジテストC級以上の資格取得者であること。

(2) フィギュア競技

ア 共通の参加制限

- ①平成29年9月1日現在、日本スケート連盟フィギュアスケATINGバッジテスト男子6級以上、女子6級以上の資格取得選手であること。但し、女子6級取得選手については、下記「イ」の参加制限を課す。
- ②出場は、1校男女それぞれ、選手3名、補欠1名以内とする。補欠との選手変更は、予選滑走順抽選までに文書で届け出た場合のみ認める。
- ③申し込み選手のほか、監督(引率者が兼任)は、1校男子クラス、女子クラスについて、それぞれ1名以内、インストラクターは参加選手1名に対し1名以内とする。
- ④都道府県代表特別枠
男子6級以上、女子6級以上の資格による出場者がいない都道府県については、特別枠として都道府県代表、男女それぞれ1名の選手の出場を、男子5級、女子5級取得選手に限り認める。

イ 女子6級取得選手の参加制限

- ①各都道府県推薦枠
6級取得選手出場総枠を、各県の6級登録選手数を基に、全国高体連スケート専門部フィギュア競技委員会が各県に比例配分し、各県の6級取得選手出場枠を決定する。
- ②特別推薦枠
 - a 開催県推薦枠
開催県の6級取得選手には、出場の枠を与える。
 - b フィギュア競技委員会推薦枠
フィギュア競技委員会が選考の上、6級取得選手に出場の枠を与える場合がある。

(3)外国人留学生については、1校男女各1名とする。

10 参加申込

※個人情報の取扱について

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用されることはない。(詳しくは大会ホームページの「個人情報取扱」を参照のこと)

(1) 申込期限

- ア 原本の送付については、平成29年12月27日(水) 消印有効
イ 但し、データ送信については、次の通りとする。

- ① 都道府県別申込、学校別申込、スピード競技申込
平成29年12月26日(火) 正午必着
- ② 都道府県別申込、学校別申込、フィギュア競技申込
平成29年12月15日(金) 正午必着

※演技予定要素リストは、日本スケート連盟web申込を平成30年1月8日までに必ず行うこと

(2) 申込先

〒403-0004 山梨県富士吉田市下吉田六丁目17-1 山梨県立吉田高等学校内 平成29年度全国高等学校総合体育大会 第67回全国高等学校スピードスケート競技・フィギュアスケート競技選手権大会 山梨県実行委員会事務局宛 TEL 0555-25-6670 FAX 0555-25-6671 e-mail: yamanashiskate67@clock.ocn.ne.jp
--

(3) 申込方法

ア 各都道府県申込責任者は、参加校の関係書類(様式4~様式10Fの必要な書類)を確認の上、大会ホームページ(<http://67skate.jp/>)より書類(様式1~様式3・選手団連絡票)をダウンロードして下記の書類を作成し、所属高等学校体育連盟会長を経由して送付すること。

同時に入力済み書類(様式1~様式3・選手団連絡票)のエクセルファイルを電子メールにて添付送信すること

- ① 様式1 申込送付書及び送金確認書 【郵送】及び【データ送信】
- ② 様式2 都道府県選手団申込一覧表 【郵送】及び【データ送信】
- ③ 様式3 役員・視察員宿泊申込書 【郵送】及び【データ送信】、配信先【FAX送信】
- ④ 選手団連絡票 【郵送】及び【データ送信】

イ 各参加校は大会ホームページより各申込用ファイル(学校別申込用、各競技用)をダウンロードして必要な書類を作成し、各都道府県申込責任者に提出すること。同時に各参加校は、各申込用ファイル(学校別申込用、参加する各競技用)およびプログラム掲載用写真を電子メールにて添付送信すること。

① 学校別申込ファイル(entryform4.xlsx)
様式4 学校別参加申込書 【郵送】及び【データ送信】

② スピード競技申込ファイル(entryform5-8.xlsx)

他に各参加校は、日本スケート連盟ホームページ(<http://skatingjapan.or.jp>)国内競技会オンライン大会申込みを行うこと。参加選手の登録番号・パスワード(日本スケート連盟登録者へは葉書で通知済み)を入力し大会名(平成29年度全国高等学校総合体育大会第67回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会)を選択。出場種目等を入力する。オンラインシステムへの入力については、12月26日正午で終了しその後の入力はできない。なお、このシステムを利用し、組合せの基準となるタイムランキングのリストを作成するため、「各種目の補欠」「リレー」「パシュート」の入力の必要はない。

「タイムランキング」について

データの締め切り後各距離のタイムランキングを実行委員会のホームページに掲載する。各校記載責任者は期間中(1月1日～1月3日)に最高タイムを確認し、ランキングのタイムに訂正がある場合は、様式7Sを組合せ抽選会議前日(1月3日)までに電子メールまたはFAXで送信すること。なお、期限までに訂正申込がされない場合その後の変更は認めない。また、電子メールで送信する場合は、表題に「【最高記録変更】○○○○高等学校」と明記すること。

様式5S スピード競技出場申込書(男・女) 【郵送】及び【データ送信】

様式6S スピード競技バッジテスト取得級貼付用紙 【郵送】

様式7S スピード競技最高記録更新届出書 【FAX】及び【データ送信】

様式8S スピード競技宿泊申込書 【郵送】及び【データ送信】、^{配信}シフトへ【FAX送信】

※プログラム掲載用写真(チーム写真) 【データ送信】

③ フィギュア競技申込ファイル(entryform9-11.xlsx)

様式9F フィギュア競技出場申込書(男・女) 【郵送】及び【データ送信】

様式10F フィギュア競技宿泊申込書 【郵送】及び【データ送信】、^{配信}シフトへ【FAX送信】

※プログラム掲載用写真(個人写真) 【データ送信】

(写真については学生大会にふさわしい恰好のものを提出すること)

ウ スピード競技「最高記録更新届出書」について

データ送信及びオンライン申し込み締め切り日(12月26日)以降に開催された公式競技会で、出場予定の種目の最高記録が更新された場合でも、タイムランキングには反映されない。申込期日以前に開催された大会の最高記録がタイムランキングに反映されていない場合は「様式7S」に必要事項を記入し、平成30年1月3日(水)正午までに大会実行委員会事務局宛に必ずFAXまたは電子メールで提出すること。

エ 参加料、プログラム代金及び大会報告書代金の送金は銀行振込とし、銀行で発行された振込金受領書のコピーを必ず申込用紙の所定の欄に貼付すること。

オ 送金の際には、実行委員会が指定した銀行口座に電信扱いで振り込むこと(振込手数料は、申込者の負担とする)。

また、送金依頼人名は都道府県名と代表者名がわかるように(個人名にしない)にすること。なお、実行委員会事務局からは、各参加校に参加料・プログラム代金等の領収書は発行しない。

カ 申込書類の送付は、発送記録が残る方法(書留等)で行うこと。

キ 申込期限に遅れたもの、申込書類に不備のあるものは受け付けない。

11 参加料について

ア スピード競技

1名1距離ごとに4,000円(リレー・パシュートは除く)。但し補欠選手の参加料は徴収しない。

イ フィギュア競技

1名4,000円。但し、補欠選手の参加料は徴収しない。

ウ 申込と同時に納入すること。申込後は、参加の取り消しがあっても返金はしない。

(1) 振込先

振込先	指定銀行	山梨信用金庫 富士吉田支店
	預金口座	店番207 (普通) 口座番号 0490268
	名義人	第67回全国高校スケート大会 山梨県実行委員会 会長 武井多加志 (ダイ67カイゼンコクコウコウスケートタイカイ ヤマナシケンジッコウイインカイカイチョウタケイタカシ)

(2) プログラム

参加校競技別に1部を無償配布する。その他は1部1,500円で販売する。代金は参加申込と同時に納入すること。

(3) 大会報告書

競技成績が掲載されている大会報告書を購入希望する学校は、参加申込と同時に申し込むこと。
1部2,000円(送料含む)の代金は、申込と同時に納入すること。

12 表彰

(1) スピード競技

ア 男女別に総合(学校対抗)6位までに賞状、優勝校には、(公財)全国高等学校体育連盟会長杯、文部科学大臣杯、(公財)日本スケート連盟会長杯(以上持ち回り)、NHK杯及び読売新聞社杯を授与する。

イ 男女別に各距離の8位までに賞状、3位までに入賞メダルを授与する。

(2) フィギュア競技

ア 男女別に総合(学校対抗)6位までに賞状、優勝校には、(公財)全国高等学校体育連盟会長杯、文部科学大臣杯、(公財)日本スケート連盟会長杯(以上持ち回り)、NHK杯及び読売新聞社杯を授与する。

イ 男女別に個人8位までに賞状、3位までに入賞メダルを授与する。

13 宿泊

(1) 宿泊の申込については、必ず「配宿センター」を経由(FAX送信)すること。

(2) 宿泊申込書の原本を必ず山梨県実行委員会宛にメール送信及び送付すること。

(3) 詳細については、宿泊要項による。

14 輸送

輸送については、輸送要項による。

15 医療救護

医療救護については、医療救護要項による。

16 式典及び諸会議

名称	競技	日時	会場
抽選会議	スピード競技	1月4日(木)14時00分	山梨県立吉田高等学校同窓会館
監督会議	スピード競技	1月22日(月)10時00分	富士急ハイランドセイコオーバル
引率責任者(監督)会議 滑走順抽選	フィギュア競技	1月22日(月)12時30分	小瀬スポーツ公園 武道館
開始式 (各競技別)	スピード競技	1月22日(月)14時00分	勝山ふれあいセンターさくやホール
	フィギュア競技	1月22日(月)14時30分	小瀬スポーツ公園 武道館
閉会式 (各競技別)	スピード競技	1月26日(金)競技終了後	富士急ハイランドセイコオーバル
	フィギュア競技	1月26日(金)競技終了後	小瀬スポーツ公園アイスアリーナ

17 留意事項

(1) 諸事情により不参加が決定した学校は、速やかにその旨をFAXまたは電子メールで実行委員会事務局に連絡すること。

(2) 各競技の練習時間は、実行委員会事務局で割り当てる。

(3) スピード競技出場者は、日本スケート連盟登録競技者証及びバッジテスト認定証を持参すること。

- (4) フィギュア競技の引率責任者(監督)は、選手のショートプログラム競技で使用する音楽の録音媒体を引率責任者(監督)会議に持参すること。また、選手は大会期間中、日本スケート連盟登録競技者証及びバッジテスト受験者手帳を携帯すること。
- (5) フィギュア競技で使用する音楽の録音媒体はMD・CDとする。録音媒体には、学校名・選手名を明記すること(シール等を媒体に貼付しないこと)。また、万々に備えて、予備のMD・CD(提出したものと異なる録音媒体が望ましい)を必ず用意しておくこと。MDはノーマルモードで録音すること。
- (6) 貴重品の管理については、各自の責任において行うこと。

18 実行委員会事務局

- (1) 平成30年3月31日(土)まで

〒403-0004
 山梨県富士吉田市下吉田六丁目17-1
 山梨県立吉田高等学校内
 平成29年度全国高等学校総合体育大会
 第67回全国高等学校スケート競技選手権大会
 山梨県実行委員会事務局宛
 TEL 0555-25-6670
 FAX 0555-25-6671
 e-mail: yamanashiskate67@clock.ocn.ne.jp

- (2) 平成30年1月22日(月)～平成30年1月26日(金)

(大会期間中連絡先)

〒400-0805
 山梨県甲府市酒折1丁目17-1
 山梨県高等学校体育連盟事務局
 TEL 055-287-8862 FAX 055-287-8872
 e-mail: yamanashiskate67@clock.ocn.ne.jp

19 各会場の住所

区分	競技名会場	住所
開 始 式	スピード競技 勝山ふれあいセンターさくやホール	〒401-0310 山梨県南都留郡富士河口湖町勝山4029-5
	フィギュア競技 小瀬スポーツ公園 武道館	〒400-0836 山梨県甲府市小瀬町840
スピード競技	富士急ハイランド セイコオーバル	〒403-0017 山梨県富士吉田市新西原5-6-1
フィギュア競技	小瀬スポーツ公園 小瀬スポーツ公園アイスアリーナ	〒400-0836 山梨県甲府市小瀬町840